

**(二社)極真会館支部長会が始動！  
第1回理事会が開催される**



第1回の理事会に参加した皆さん。

新役員は次の通りです。

理事長／長谷川一幸

副理事長／高橋康夫、濱井識安、

竹隆光

事務局長／田畑繁

理事／七戸康博、瀬戸利一

監事／水口敏夫、安齋友吉、三和

純

社員／岡田幸雄、三村恭司、桑島

保浩、長谷場譲、河西泰浩

その後、極真会館支部長会をどのように発展させ、フルコンタクトカラテ界に貢献していくかについて話し合われました。

去る7月17日にホテル京阪京橋グランデ（大阪府）において、(二社)極真会館支部長会の第1回理事会が行われました。

11名が出席し、長谷川一幸理事長をはじめとする新役員が選出されました。

特に(一社)極真会館支部長会の理念と方向性をどう実現していくのか？ 皆がそれぞれの立場で意見を述べ、極真会館の方向性や未来に対して率直な意見交換を行いました。

最後は全日本大会、世界大会の統一を実現させることと極真百年の大計を則ることを皆で誓い、2時間に

及ぶ理事会は終了しました。

(報告／田畑繁)



副理事長／濱井識安



副理事長／高橋康夫



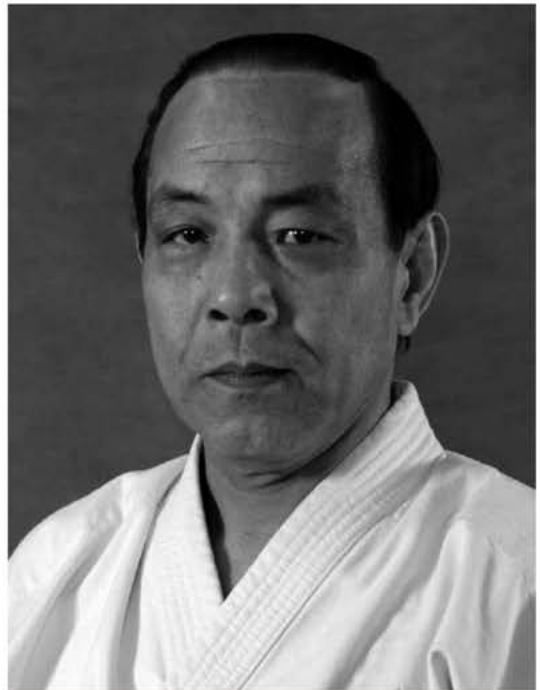
事務局長／田畑繁



副理事長／竹隆光

〈支部長会の理念と方向性〉

- ①極真会館による全日本空手道選手権大会及び世界空手道選手権大会の開催
- ②極真空手の正しい継承、普及のための研修会等の開催
- ③極真関連標章（商標）を管理するための諸活動
- ④前各号に附帯関連する事業



(一社) 極真会館支部長会  
長谷川一幸・理事長発表

## 極真会館を未来永劫 発展させていくために

平成6年4月26日に大山総裁が逝去されて早26年、四半世紀以上の歳月が経ちました。

その間、周知の通り、極真会館は分裂を繰り返し、海外を含めると数えきれない程、極真を名乗る団体、派閥が増えていきました。過去幾度か統一、大同団結の声が上がりましたが、各々の既得権益、人間関係が複雑に絡み、実現することはありませんでした。

しかし、大山総裁生前の頃から極真発展のために粉骨砕身の思いで尽

力してきた元支部長有志達が極真会館の再編、発展のために協力を約束し、令和元年5月に「社団法人極真会館 支部長連合会」(※現在、極真会館支部長会と改名)を発足しました。

大きな変革期を迎え、時を同じくして、大山喜久子氏から「極真」の商標権譲渡の話が私宛にあり、大山総裁が創始された極真会館、総本部を正しい形で継承、後世に残していくための話し合いを重ねた結果、私大山総裁から認可を受けた支部長達と一緒に共同で管理していくことを決め、関係各所に呼びかけを行っており、賛同者も増えてまいりました。

本年7月に支部長会の会議を行い、

役員選出と今後の活動方針、商標共同管理等を話し合いました。

顧問には、極真会館分裂初期から幾多の裁判において第一人者として多大なる功績を上げられた田中清和弁護士に就任していただきました。

今般、理事長に選出された私は極真再編、発展のために大きな3つの柱を提唱し、実現したいと考えております。

一、大山倍達総裁、極真会館の名前を未来永劫残していく。

大山総裁直弟子である我々の使命であり、未来に向けて私たちの代だけでなく、次世代に継承していく。

二、極真会館商標の共同管理

大山喜久子氏から譲渡を受けた商標を個人が持つのではなく、支部長会メンバー皆で引き継いでいく。我々の後継者である次世代の弟子が安心して活動できるように、またご遺族の支援も皆で話し合って進めていく。

三、統一大会の開催

現在、各々が行っている活動(大会等)には干渉せず、一般、ユースの統一全日本大会、世界大会を協力して開催し、道場生に夢と希望を与える組織作りを目指す。

今後は大山総裁から認可を受けた支部長達、大同団結の呼びかけに相應る極真各団体の皆様と共に、派閥を超えた連携、協力関係を構築し、もう一度極真が素晴らしい時代を築けるように尽力していく所存であります。

皆様方におかれましても、ご支援、ご協力の程、何卒お願い申し上げます。



大山倍達総裁(右)と長谷川一幸氏。